

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572- 23 - 3455 FAX 0572- 26 - 8813

指導日誌より

= 瑞浪地区 =

人通りはあまりありませんでした。バロー裏の 19 号地下通路にゴミが散乱していたので片付けました。(1/9 瑞浪 A)

校門にてあいさつ。いよいよあと 3ヶ月で閉校となりますので、残りの期間引き続きあいさつ運動にて生徒たちと接して行きたい。(1/13 陶 E)

巡回しながら小学生の登下校ルートについて話し合ったので、より安全なルートを提言しようと学校に出向こうかと思えます。(1/14 明世 H)

たばこの吸い殻が非常に多く、時間をかけて回った。集団で歩いている高校生がいましたが、声かけをしても返事がない子がいました。(1/18 土岐 C)

中学生登校時に校門にてあいさつ活動。寒い中ではあったが、元気なあいさつをお互いに交わす事ができとても良かった。(1/22 釜戸 G)

冷たく小雪のちらつく夜の巡回となったが、やはり人通りも少なく、コンビニやディスカウントストアもがら空きであった。冷気のため、皆家で縮まっているのだろうか？(1/23 稲津 F)

駅前でゴミを拾っていると、男子高校生が通路のゴミを 2~ 3個拾ってゴミ袋に入れてくれた。礼を言うと、「ご苦労様ですね。」とあいさつしてくれた。さわやかな高校生だった。(1/25 日吉 I)

= 多治見地区 =

まなびパークで自習している高校生たちが気持ちの良いあいさつを返してくれました。(1/12 南姫 9)

夕方早い時間でしたが、子どもたちは見かけませんでした。駅北口のエレベーター前にバイク台と 4 人の高校生が話をしていた。あいさつしたら返してくれた。(1/15 池田 6)

指導することもなく、誰もが安心できるような下校の様子です。小学生、中学生、高校生とも、さわやかなあいさつができ心があたたまります。数年前よりもとても良い感じを受けています。(1/21 養正 7)

下校する小学生はそれぞれバラバラにならずリーダーの下で下校する様子が伺えた。その後、中学生の下校にも出会えたが、それぞれ元気にあいさつを返してくれた。とても寒かったが、心があたまった。(1/21 脇之島 12)

◆◆◆ 1月 声かけ活動の結果 ◆◆◆

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合 計
指 導 人 数	5	0	5	10
声 か け 人 数	636	100	175	911
指 導 員 参 加 者	64	33	35	132

天気不良のため、子どもたちの姿がいつもより少なかった。声をかけた子どもたちからは元気よく返事があった。(1/23 北栄 1)

根本交流センターで子どもたち、保護者に声かけ。根本駅で乗降客にあいさつ。いつもよりあいさつに応えて下さる方が多く、良い気分でした。(1/27 根本 10)

校門や通学路で声かけ。ノーヘルで自転車に乗る小学生男子 名を指導した。(1/28 滝呂 8)

= 土岐地区 =

駅前のバス停前の階段に 4 人の高校生が自転車を止め座っていた。「ここは歩行者の通路だから自転車を止めて長話しちゃダメだよ。」と声をかけた。ロータリー中央には女子中学生が 2 人立っていた。目の前にある塾の休憩時間だったようでした。(1/6 泉 8)

冬休み中で就学児童 生徒の姿は見かけなかった。コンビニ、公民館、町の人から話を聞いたが、気になる話はなかった。(1/7 駄知 5)

肥田のパロー西側駐車場を点検。近くにソフトバンクの店舗があり、若者が集まってタバコを吸っているとの情報から巡回と清掃。確かに吸い殻は多かったが、若者の物かは不明。(1/13 特 A)

児童館前で出会った女子小学生が元気にあいさつしてくれた。(1/14 妻木 3)

駅前のトイレ前に男子 4 名、女子 1 名の高校生がたむろしていたので口頭指導した。(1/21 肥田 6)

山神のコンビニに 人の高校生が立っていました。話を聞くと父親の迎えを待っているとの事。寒いけれども風邪をひかないようにとマスクを渡しました。(1/22 下石 2)

寒さのため人通りが少ないが、高校生に声かけすると返事を返してくれた。(1/25 泉 7)

「自分さえよければ病」

ひとこと

「自分さえよければ病」
この病の特徴は、自分にとっていちばん利益が上がるように行動しているつもりが、

社会全体では不利益を生み、
結局自分自身も
貧しくなってしまうことだ。

つまり、むき出しの
自己利益追求の果てに待っているのは、
共食い・共倒れの世界にほかならない。

浜 矩子 (同志社大学大学院教授,エコノミスト)

残念なことに、この言葉を聞いて「確かに」と頷いてしまう現実を、最近はおちこちで目にします。大人たちがそうであれば・・・。いや既に、子どもたちの中にもこの「病」が見えることも・・・。まず私たち、大人がこの病を治さねば。

< センターから >

もうすぐ春です。この季節こそ声かけを！

1月6日の運営協議会では、今年度の声かけ活動の活動状況についてセンターから報告しました。平成26年度は台風等による悪天候で、活動中止を余儀なくされたケースが多かったのですが、今年度は中止となった活動は1回のみでした。少人数となってしまった活動もありましたが、声かけ活動の機会を無駄にせず継続していただいていることに感謝いたします。ただ、一人では不測の事態が起きないとも限りませんので、そのような場合は延期または中止してください。

今年の冬は暖冬と言いながら、やはり雪が降りました。寒い日も続いたためか、最近声かけ活動への参加数が若干少ないようです。今年度も残り2か月余りとなりました。指導員の皆さん、声かけ活動をよろしく願いいたします。3月、4月は卒業式、入学式が続き、子どもたちにとっても環境変化の季節です。春を向かえて開放的な気分になる子もいれば、落ち着かない気分の子もいるでしょう。子どもたちに声をかけ、しっかりと見守っていきたいと思います。